

家族支援専門看護師

- ・ 「家族は第2の患者」といわれるように、患者さんの病や治療は、ご家族にも大きな影響をもたらします。患者さんの健康回復のため、ご家族を支える事の大切さは広く知られるようになりました。
- ・ 家族支援専門看護師は、患者個人・家族及び集団に対して、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究という6つの役割を持ちながら、家族を支援するための専門的な活動をしています。
- ・ 私達は、患者さんやご家族が、病気や障害に関連して生じる悩みや葛藤を乗り越えていけるように支援することはもちろん、家族間・医療者間・家族-医療者間の調整、倫理的な問題への対応などを行います。
- ・ 医療スタッフに対しても、患者さんやご家族の支援に関する相談、家族看護の勉強会開催、研究活動の相談等を随時受付けていますので、気軽にご相談ください。



阪野 有紀

2011年12月取得

医療の進歩に伴い治療選択肢が増え、患者さんやご家族は意思決定に難渋することも多く大切な命に関わる問題でもあり、苦渋の選択をしながら生活をされていると思います。このような中で、私は看護師として経験を重ねるうち、患者さんだけでなく患者さんを含めた家族へのケアも看護師にとって大切な役割だと感じるようになり、家族支援専門看護師になりました。現在、退院準備や自宅療養環境調整における相談や地域連携といった側面から、その専門性を活かした看護を行っております。患者さん、ご家族だけでなく病棟看護師へのサポートもしながら、共に支えあっていけるような体制をつくっていきたいと思っています。

木村 藍子

2011年12月取得

私は、さまざまな障害を持つ患者さんを含めたご家族を支援したい、その患者・家族を支援する看護師やその他の医療者を支援したいと思い、家族支援専門看護師になりました。脳血管障害・難病患者さん・ご家族との関わりにおいて、患者さんの障害を受け止め、今後の生活を再構築していくためには、ご家族の支援も重要であると考えています。現在は血液腫瘍内科等の患者さん・ご家族への支援を行っています。患者さんが回復するとご家族の心境も変化し、ご家族が患者さんに声かけをすると患者さんも前向きな気持ちになることがあります。このような相互作用を大切にご家族への支援を行っていきたいと思います。お困りの際は是非ご相談下さい。

園川 雄二

2012年12月取得

私は、両親が悩みながら祖父を自宅で介護していたこと、ある問題の生じた患者さんやご家族に対し何もできなかったという思いを抱いたことが、家族支援専門看護師を目指すきっかけでした。患者さんやご家族の悩みや葛藤はもちろん、患者さんやご家族を援助する立場の看護師、その他の医療者の悩みや葛藤に対して手助けすることができればと考えています。どのような些細なことでも構いませんので、気軽にご相談いただければと思います。

三枝 真理

2012年12月取得

私は、こどもから高齢の方まで、あらゆる年代の患者さんに行われる造血細胞移植の現場で働いています。リスクの高い、高度専門治療に挑まれる患者さん、提供者となられるドナー、各々のご家族の気持ちは日々揺れ動き、重積や緊張が絶えず、ご負担は大きいものです。ご家族や医療スタッフと十分相談しながら、患者さんの回復と問題の解決を目指して尽力したいと思いますので、お気軽にお声掛けください。